



2026-10-06 終値時点 ・ 決算は2026年第2四半期（2026-06-30時点、10-Qは2026-07-31提出）、株価データは2026-10-06終値時点

アマゾン・ドット・コム [AMZN](#)

アマゾン：AWS売上高は37%増、第2四半期利益は\$50.5BのAnthropic評価益を含み、フリーキャッシュフローはマイナスに転じた

第2四半期の売上高は\$200.6B（前年同期比20.0%増）、営業利益は\$27.5B（同43%増）であった。AWSの売上高は36.7%増と18四半期で最も高い伸びとなり、未認識の長期契約額（残存履行義務）は約\$496Bである（10-Q、2026-07-31）。検証の結果、第2四半期の純利益\$62.6Bには\$53.4Bのその他の収益が含まれ、その主因はAnthropicの無議決権優先株に係る\$50.5Bの評価増であり、未実現利益である。これを除くと第2四半期のEPSは約\$1.95（推定）となり、この基準での今期PERは約31.9x（推定）であって、yfinanceが表示する20.6xではない。過去12カ月の設備投資は\$173.0B、会社定義のフリーキャッシュフローは-\$7.6Bである。上半期に長期債務が約\$64B増加したほか、7月と9月にも約\$30.7B（推定）を発行した。

レーティング・12カ月・対 S&P 500 買い 2026-10-07 確定・レーティングの定義	株価 \$256.29 2026-10-06 終値	時価総額 \$2.76T Consumer Cyclical	1年騰落率 +16.0% 年初来 +11.0%
今期予想PER 19.9x EPS 12.88（コンセンサス平均）	次回決算 2026-10-30 yfinance カレンダー		

01

マーケット環境

2026-10-06時点で、S&P 500は年初来+14.2%、ナスダック総合指数は+18.8%であり、いずれも10月6日に終値ベースの最高値を更新した。一般消費財セクターETFは年初来-5.9%、同社株は+11.0%で、セクターを上回ったもののS&P 500を3.2ポイント下回る。米10年国債利回りは5.27%と過去1カ月で48.5bp上昇し、10月5日には日中に5.349%と

2002年以来の高水準に達した。VIXは15.0、ドル指数は過去1カ月で2.7上昇した。同株の1年ベータは1.45、S&P 500との相関係数は0.55である。長期金利の上昇は成長株の割引率を押し上げると同時に、同社の新規発行債券の利払い負担を増加させる（同社が7月に発行した2066年満期債の表面利率は6.25%）。

指数とセクター

	直近	1週間	1カ月	3カ月	年初来	1年
S&P 500	7,818.93	+1.9%	+1.3%	+4.2%	+14.2%	+16.0%
ナスダック総合	27,599.89	+3.0%	+4.1%	+6.9%	+18.8%	+20.3%
ダウ工業株30種	51,521.28	+0.3%	-3.5%	-2.7%	+7.2%	+10.3%
ラッセル2000	2,830.30	+0.8%	-4.9%	-5.1%	+14.0%	+13.8%
Consumer Cyclical セクター ETF	111.72	+2.4%	-2.6%	-4.6%	-5.9%	-6.1%
AMZN	256.29	+3.9%	-0.9%	+4.2%	+11.0%	+16.0%

金利・ボラティリティ・相対パフォーマンス

VIX 指数 15.01 1カ月 +0.48	米10年債利回り 5.27% 1カ月 +49bp	ドル指数 101.89 1カ月 +2.73	対 S&P ベータ 1.45 1年相関係数 0.55	3カ月の超過リターン -0.0% 対 S&P 500
1年の超過リターン +0.0% 対 S&P 500				

マクロ・市場イベント

日付	イベント	当該銘柄への影響	出典
2026-10-02	9月の非農業部門雇用者数は2.9万人増と一致予想の約8.4万人増を下回り、失業率は4.2%に上昇、平均時給は前年同月比3.0%増	雇用の減速は10月利上げの確率を低下させ、バリュエーションの支えとなる。一方、雇用と賃金の減速は小売需要を押し下げる可能性もある（推測）。	CNBC
2026-10-02	統計発表後、10月FOMCでの利上げの市場織り込み確率は約17%に低下したが、12月の利上げは依然として大部分が織り込まれている	政策金利見通しは成長株バリュエーションの主要な変数の一つである。12月の利上げ観測は残っており、金利リスクは解消していない。	CNBC
2026-09-16	FRBが政策金利を25bp引き上げ、3.75%–4.00%とした	資金調達コストの上昇は同社の大規模な社債発行と同時期に生じている。支払利息の増加が利益に与える影響は短期的には限定的であるが、設備投資計画の資金調達コストを押し上げる。	Federal Reserve Board

日付	イベント	当該銘柄への影響	出典
2026-10-05	米10年国債利回りが5.349%に上昇し、2002年4月以来の高水準となった	割引率の上昇はデフレーションの長い成長資産のバリュエーションに下押し圧力となる。同社のAWS長期契約価値の割引も同様に影響を受ける（推測）。	CNBC
2026-09-29	コンファレンス・ボード消費者信頼感指数が81.9に低下し、2014年4月以来の低水準となった	消費者信頼感の悪化は北米小売事業の下振れリスクである。原油価格が\$100を上回っていることも可処分支出を圧迫する（推測）。	CNBC
2026-09-28	米中が一部品目の関税引き下げで合意した。これに先立ち、裁判所は8月13日に\$800以下の小口貨物に対する少額免税措置（デミニミス）の撤廃を支持した	関税引き下げはサードパーティ販売事業者のコスト低下につながる一方、少額免税の撤廃は越境低価格商品のコストを押し上げる。同社の小売粗利益率への純影響は未確定である。	CNBC

02

個別イベント

2026-10-07

好材料 会社発表

AWSがEC2 GPUキャパシティ予約価格を約15%引き上げ

4四半期連続の引き上げであり、GPU計算資源の需給逼迫を反映している。AWSの売上高と利益率にとってプラスである。

出典：AWS

2026-10-06

中立 会社発表

プライム会員向け大型セールを10月6-7日に開催

第4四半期の小売売上高に計上され、年末商戦の需要を見る早期の指標となる。

出典：Amazon

2026-10-05

好材料 レーティング

TD Cowen、Rosenblatt、Tigressなどが買い推奨を維持または目標株価を引き上げ

TD Cowenは第3四半期のAWS成長率を約41%と予想している。過去90日間に格下げはない。コンセンサス目標株価の中央値は\$330.0である。

出典：Investing.com

2026-10-01

未確定 ニュース

Anthropicが11月の上場を計画と報道

上場時には転換社債が転換され、優先株は市場価格で再測定されるため、多額の利益または損失が生じる可能性がある。キャッシュフローへの直接の影響はない。報道は会社による確認を経ていない。

出典: Bloomberg

2026-09-24

悪材料 ニュース

AnthropicがAkamaiと7年間で\$11.6Bの計算資源契約を締結

Anthropicが計算資源の調達先を分散させていることを示しており、Anthropicの計算資源調達に占めるAWSのシェアが低下する可能性がある（推測）。

出典: Akamai

2026-08-31

悪材料 ニュース

FTCと22州が広告オークションにおける隠れた上乗せ課金でアマゾンを提訴

原告側は対象金額が\$20Bを超えているとしている。広告は26%成長の高収益事業であり、訴訟の結果と潜在的な制裁金は現時点で定量化できない。2023年の反トラスト訴訟の公判開始は2027年に延期された。

出典: FTC

2026-07-31

未確定 決算

10-Qの開示: Anthropic優先株の帳簿価額\$92.5B、転換社債の公正価値\$97.9B

両者の合計は約\$190.4Bで、同社時価総額の約6.9%（推定）に相当し、いずれも公正価値ヒエラルキーのレベル3である。Anthropicの評価額の変動は同社の利益およびその他の包括利益に直接影響する。

出典: 10-Q (2026-07-31)

2026-07-30

未確定 ニュース

2026年の設備投資ガイダンスを約\$220Bに引き上げ

設備投資は主にAIインフラ向けでAWSの成長を支えるが、フリーキャッシュフローをマイナスに転じさせ、債務による資金調達を増加させている。利益に結び付くかはAI需要と価格設定次第である。

出典: CNBC

2026-07-30

中立 決算

第3四半期ガイダンス: 売上高\$197.0B-\$202.0B (+9%-12%)、営業利益\$22.5B-\$26.5B

プライムデーが7月から6月に移ったため、会社はその影響を除くと第3四半期の伸び率は約400bp高くなるとしている。ガイダンスはエネルギー・デリバティブ契約の再評価を含まない前提である。

出典: 8-K (2026-07-30)

第2四半期決算：売上高\$200.6B（+20%）、AWS売上高\$42.2B（+37%）、営業利益\$27.5B（+43%）

売上高、営業利益ともに会社の従来ガイダンス・レンジを上回った。AWSの営業利益は\$16.6B、営業利益率は39.3%（推定）である。翌日の株価は15.3%上昇した。

出典：8-K（2026-07-30）

\$25.0Bの米ドル建て社債を発行（8本、最長2066年満期、表面利率4.60%–6.25%）

上半期に長期債務は既に約\$64B増加しており、10-Qは2026年も資金調達を継続するとしている。9月14日には別途£4.25Bのポンド建て社債を発行した。

出典：8-K（2026-07-09）

過去90日のアナリスト・レーティング変更（31件、直近12件を表示）

日付	機関	アクション	レーティング	目標株価
2026-10-06	Tigress Financial	main	Buy → Buy	315 → 385
2026-10-05	TD Cowen	reit	Buy → Buy	350 → 350
2026-09-30	Rosenblatt	main	Buy → Buy	335 → 360
2026-09-03	Wells Fargo	main	Overweight → Overweight	328 → 338
2026-07-31	UBS	main	Buy → Buy	305 → 318
2026-07-31	Telsey Advisory Group	main	Outperform → Outperform	315 → 335
2026-07-31	Bernstein	main	Outperform → Outperform	315 → 320
2026-07-31	Citigroup	main	Buy → Buy	325 → 350
2026-07-31	RBC Capital	main	Outperform → Outperform	320 → 330
2026-07-31	Mizuho	main	Outperform → Outperform	320 → 330
2026-07-31	TD Cowen	main	Buy → Buy	340 → 350
2026-07-31	DA Davidson	main	Neutral → Neutral	250 → 250

yfinance の集計値であり、個別には検証していない。up は引き上げ、down は引き下げ、main は据え置き、init は新規カバレッジ、reit は再表明を示す。

レーティングとスコアカード

当社レーティング

買い 今後12カ月のトータルリターンが S&P 500 を10～20ポイント上回ると予想・スコアカード加重点 3.25

発行者レーティング：買い。ルールに基づく中立（スコアカード加重スコア3.25）より1段階上。

ルールはバリュエーションに2点を付けている。Anthropicの評価益を除くと今期PERは約31.9倍（推定）で、同業中央値26.8倍を上回る。発行者は成長見通しがこのプレミアムを正当化すると判断した。

AWSの成長加速。 第2四半期のAWS売上高は\$42.2Bで前年比36.7%増と18四半期ぶりの高い伸びとなり、残存履行義務は約\$496B（加重平均残存期間6.4年）である。GPU容量予約価格は4四半期連続で引き上げられた（10-Q、2026-07-31）。

利益率の改善。 第2四半期の営業利益は\$27.5Bで前年比43%増、営業利益率は11.4%から13.7%に上昇した。第3四半期の営業利益ガイダンスは\$22.5B～\$26.5Bで、前年同期は\$17.4Bである（8-K、2026-07-30）。

来期ベースのバリュエーション。 来期の一致予想EPS \$10.51に基づくPERは約24.4倍で、同業の今期中央値を下回る。

主なリスク： 約\$220Bの設備投資によりTTMフリーキャッシュフローは-\$7.6Bとなり、上半期の長期債務は約\$64B増加した。利益はAnthropicの評価に大きく左右される（優先株と転換社債の簿価は合計約\$190.4B）。オフバランスのコミットメントは\$650.0Bに上り、FTCの広告訴訟と独占禁止法訴訟の影響はまだ定量化できない。

レーティング変更の条件： AWSの伸びが30%を下回る、営業利益がガイダンス範囲を下回る、またはAnthropicの上場価格が簿価を下回り大規模な評価減が生じた場合、中立への引き下げを検討する。

レーティングは公開情報に基づくリサーチ上の見解であり、特定の個人の資産状況を前提としたものではない。ルールと分布については次を参照：レーティングの定義

ファンダメンタルズ	バリュエーション	モメンタム	決算の質	リスク
5 / 5	2 / 5	3 / 5	3 / 5	3 / 5

リスクの点数は高いほどリスクが低いことを示す。5項目の加重点から推奨レーティングを算出し、発行者の確認を経て確定する。

採点の根拠

ファンダメンタルズ 5 / 5

売上高成長率は加速を続けており（為替影響を除く前年同期比は各四半期で順に10%、12%、12%、12%、15%、20%）、第2四半期は+20.0%、TTMは+15.8%で、「15%超かつ加速」の5点区分に該当する。営業利益率は前年同期の11.4%から13.7%に上昇し、AWSの営業利益率は39.3%（推定）である。既に上限に達しているため、加点は行わない（8-K、2026-07-30）。

第2四半期売上高+20.0%、TTM +15.8%；営業利益率13.7%（前年11.4%）；AWS +36.7%

バリュエーション

2 / 5

yfinanceの今期（0y）PER 19.9xが用いるEPS \$12.88には、上半期のAnthropicなどの評価益約\$5.03が含まれる（推定）。これを除くと今期EPSは約\$8.03、PERは約31.9x（推定）となり、同業中央値26.8xを約19%上回るため、2点区分に該当する。来期一致予想EPS \$10.51から算出される成長率は約31%で、PEGは約1.0と1を下回らないため、上方調整は行わない。同業のうち小売（WMT、COST）とクラウド・広告（MSFT、GOOGL、META）ではバリュエーションの差が大きく、本項目の確度は低い。

コア今期PER約31.9x（推定）、同業中央値26.8x；PEG約1.0

モメンタム

3 / 5

S&P 500に対する超過リターンは3M -0.0%、6M +1.7%、1Y +0.0%、年初来-3.2%と、指数とほぼ連動している。株価は200日移動平均を6.1%上回り、50日移動平均とはほぼ同水準である。

超過リターン 3M -0.0%、6M +1.7%、1Y +0.0%、YTD -3.2%；200日移動平均を6.1%上回る

決算の質

3 / 5

5点から2点を減点した。①税引前利益に占める営業外収益の比率はTTMで46.6%（\$81.8B / \$175.5B）、第2四半期単独で66.1%であり、主因はAnthropic優先株の評価増である。25%を超えるため2点を減点した（10-Q、2026-07-31）。TTMのフリーキャッシュフローはマイナスであるが、会社はAI関連の設備投資が原因と説明しており、減点はしない。売掛金等は前年同期比53.4%増と売上高の19.6%増を上回るが、10-Qに個別の説明はない。減点はせず、モニタリング項目とした。

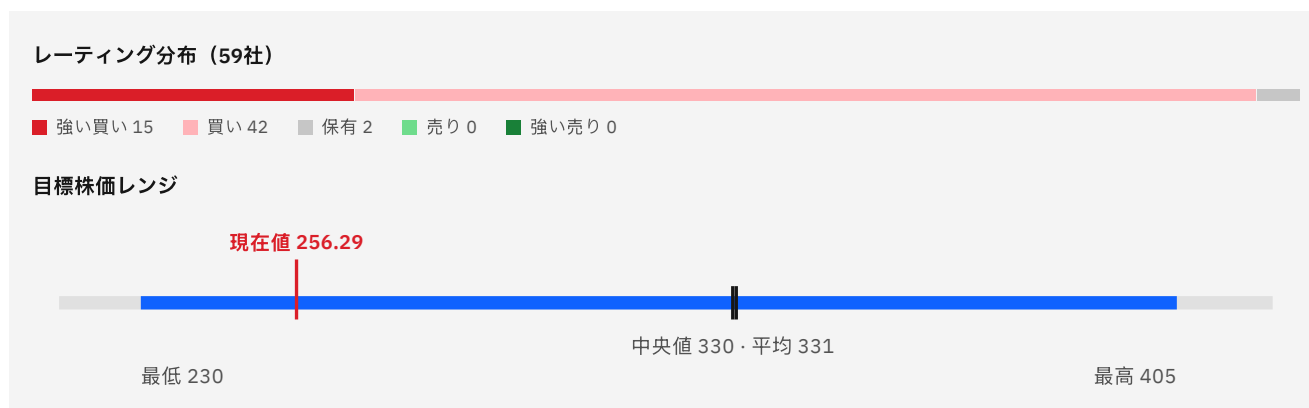
税引前利益に占める営業外収益：TTM 46.6%、第2四半期66.1%；売掛金+53.4%に対し売上高+19.6%

リスク

3 / 5

5点から2点を減点した。①オフバランスのコミットメントは合計\$650.0Bで、うち未開始リース\$137.2B、無条件購入義務\$130.1Bであり、時価総額の23.5%、年間営業キャッシュフローの4.0倍に相当する（10-Q、2026-07-31）。②FTCと22州が8月31日に提起した広告訴訟および2023年の反トラスト訴訟は、現時点で定量化できない。1年ボラティリティ34.5%、最大ドローダウン-21.7%は減点基準に該当しない。純有利子負債/EBITDAは約0.2x（推定）である。このほか、Anthropicは同社の投資先（帳簿価額約\$190.4B）、AWSの大口顧客、融資先（最大\$20.0Bの融資枠）を兼ねており、関連リスクが集中している。ルール上は個別の減点対象ではないが、理由として明記する。

コンセンサス



yfinance の集計（アナリスト57人、更新時期は不明）。分布を示すのみであり、目標株価を支持するものではない。

財務分析

四半期業績

四半期末	売上高	前期比	前年比	粗利率	営業利益率	純利益	希薄化後EPS	営業CF	フリーCF
2025-06-30	\$167.7B	+7.7%	+13.3%	－	11.4%	\$18.2B	1.68	\$32.5B	\$332M
2025-09-30	\$180.2B	+7.4%	+13.4%	－	9.7%	\$21.2B	1.95	\$35.5B	\$430M
2025-12-31	\$213.4B	+18.4%	+13.6%	－	11.7%	\$21.2B	－	\$54.5B	\$14.9B
2026-03-31	\$181.5B	-14.9%	+16.6%	－	13.1%	\$30.3B	2.78	\$26.0B	\$-18.2B
2026-06-30	\$200.6B	+10.5%	+19.6%	－	13.7%	\$62.6B	5.75	\$45.4B	\$-8.8B

出典：SEC XBRL。フリーキャッシュフロー＝営業キャッシュフロー－設備投資。第4四半期のEPSはXBRLで欠落することが多く、会社発表値を優先する。

バリュエーション

基準	EPS	PER
GAAP、直近12カ月	12.43	20.6x
調整後、直近12カ月（アナリスト基準）	12.43	20.6x
今期予想（0y）	12.88	19.9x
来期予想（+1y）	10.51	24.4x

yfinanceのtrailingPE 20.6xと今期PER 19.9xはいずれもAnthropic評価益を含む。
forwardPE 24.5xは来期（+1y）の一致予想EPS \$10.48を用いており、同予想は通常、投資の評価益を含まない。上半期の評価益を除くと、今期PERは約31.9x（推定）、TTMでは約38.5x（推定）である。

現在の株価で算出。予想EPSはyfinanceが集計したアナリストのコンセンサス平均であり、調整後ベースである。

決算の要点

第2四半期の利益は主にAnthropicの評価増によるものである。 yfinanceは第2四半期EPSを\$5.75、サプライズ率214.9%と表示している。10-Qによると、その他の収益は\$53.4Bで、うち「非上場企業株式投資の上方修正」が\$50.5Bであり、主にAnthropicの無議決権優先株に対する観察可能な価格に基づく調整で、未実現利益である。上半期の合計は\$62.8Bである（10-Q、2026-07-31）。その他の収益を除くと、第2四半期EPSは約\$1.95（推定、実効税率22.5%で計算）で、一致予想の約\$1.83を約7%上回る。

基礎的な数値は一致している。 売上高、営業利益、純利益、GAAP EPS、営業キャッシュフロー、売掛金および棚卸資産は、各四半期ともXBRLと一致する。

フリーキャッシュフローはマイナスである。 会社定義のTTMフリーキャッシュフローは-\$7.6B（営業キャッシュフロー\$161.4B－純設備投資\$169.0B）であり、設備投資総額\$173.0Bで計算すると-\$11.6Bとなる（10-Q、2026-07-31）。会社は主因をAI投資と説明している。

債務が急増している。 長期債務の額面は2025年末の\$68.8Bから2026年6月末には\$133.0Bに増加し、上半期には米ドル、ユーロ、スイスフラン、カナダドル建ての社債を新規発行した。7月に\$25.0B、9月に£4.25Bを発行している（8-K）。このほか\$17.5Bの遅延引出型タームローンがあるが、引出状況は確認できず。

売掛金の伸びが売上高を上回る。売掛金等は\$88.1Bで前年同期比+53.4%、売上債権回転日数は約40日（推定）であり、前年同期は約31日（推定）であった。10-Qに個別の説明はない。

原資料のみに記載された事項

Anthropicへのエクスポージャー：優先株の帳簿価額は\$92.5B（2025年末\$14.8B）、転換社債の公正価値は\$97.9B（2025年末\$45.8B）であり、その他の包括利益に含まれる未実現利益は\$92.0Bである。同社はAnthropicに最大\$20.0Bの融資枠も提供しており、うち\$5.0BをシリーズH優先株の引受けに充て、残りは\$15.0Bである（10-Q、2026-07-31）。

AWSの長期契約：残存履行義務は約\$496B、加重平均残存期間は6.4年である。OpenAIとの契約は当初の\$38.0Bに\$100.0B（8年）が上積みされ、Anthropicとの契約は\$100.0B超（10年）拡大した。いずれもAWSチップの性能に関する契約上の義務を含む（10-Q、2026-07-31）。

オフバランスのコミットメント：合計\$650.0Bで、うち未開始リース\$137.2B、無条件購入義務\$130.1Bである。このほかスタンドバイ信用状が\$13.4Bある（10-Q、2026-07-31）。

エネルギー契約：最長20年に及ぶ一部の電力契約はデリバティブとして会計処理され、公正価値の変動は損益に計上される。第3四半期ガイダンスはその再評価の影響をゼロと仮定している（8-K、2026-07-30）。

後発の資金調達：10-Qは2026年も資金調達を継続するとしている。7月9日に米ドル建て、9月14日にポンド建ての社債発行をそれぞれ完了した（8-K）。

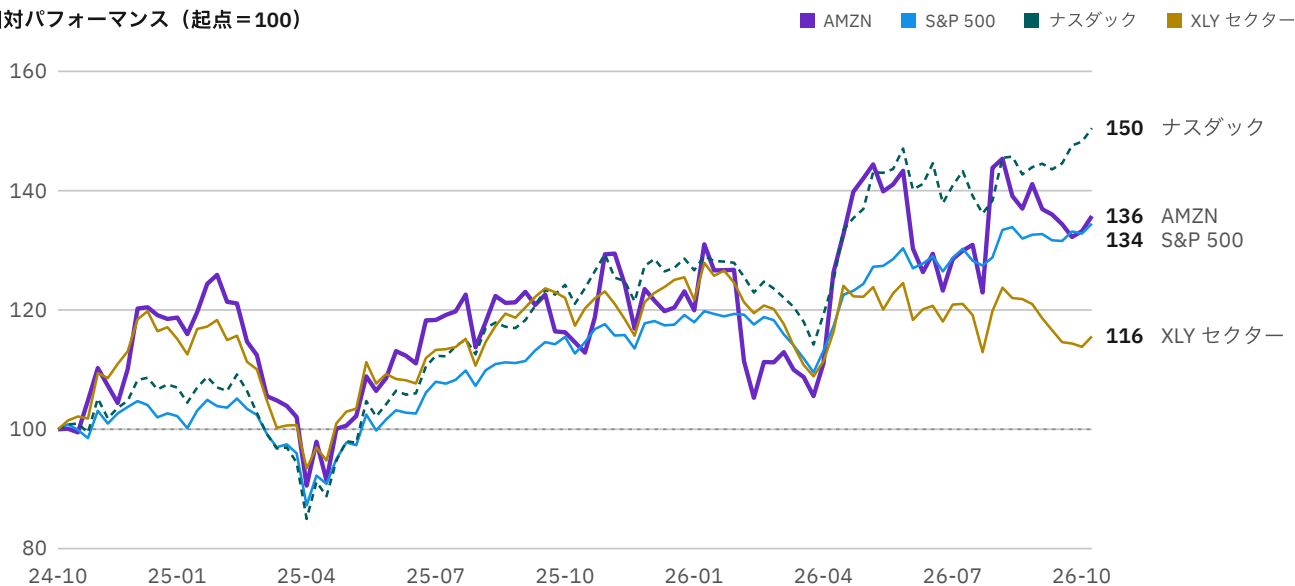
データベンダー数値の訂正

項目	yfinance	原資料（計算方法付き）
freeCashflow	\$3.2B	-\$7.6B（会社定義）= 営業キャッシュフロー\$161.4B – 純設備投資\$169.0B。設備投資総額\$173.0Bで計算すると-\$11.6B（10-Q、2026-07-31）
trailingPE	20.6x	TTMのGAAP EPS \$12.43は約\$81.8Bの税引前営業外収益を含む。これを除くとTTM EPSは約\$6.66（推定）、PERは約38.5x（推定）
forwardPE	24.5x	将来12カ月ではなく来期（+1y）のEPS \$10.48を使用。評価益を除いた今期PERは約31.9x（推定）
決算サプライズ（2026-06-30）	+214.9%	実績EPS \$5.75は\$53.4Bの税引前その他の収益を含む。これを除くと約\$1.95（推定）で、一致予想\$1.83を約7%上回る

05

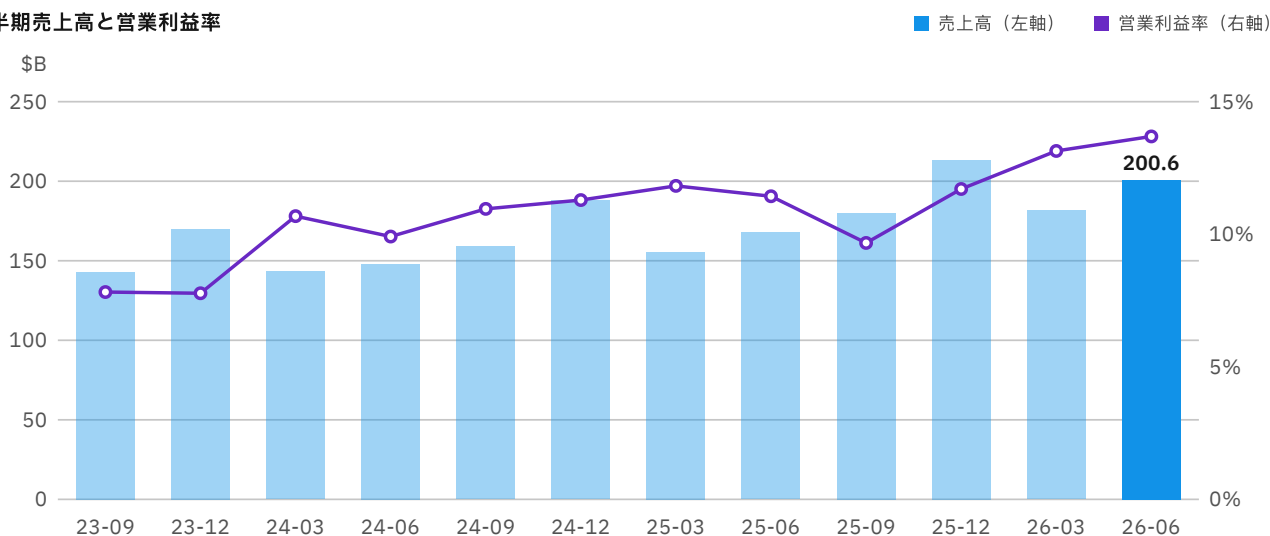
株価推移

相対パフォーマンス（起点=100）



週次終値（調整後）、2024-10-13 を100として指数化。右端の数値は期末値。

四半期売上高と営業利益率



直近12四半期。出典：SEC XBRL。

06

同業比較

ティッカー	名称	時価総額	1カ月	年初来	1年	PER 実績	PER 今期	売上成長率	粗利率	営業利益率
AMZN	Amazon.com, Inc.	\$2.76T	-0.9%	+11.0%	+16.0%	20.6x	19.9x	+19.6%	50.8%	13.7%
MSFT	Microsoft Corporation	\$3.93T	+5.9%	+10.1%	+1.0%	29.5x	26.8x	+17.7%	67.9%	45.1%
GOOGL	Alphabet Inc.	\$4.25T	+2.7%	+11.3%	+39.2%	17.4x	16.9x	+24.2%	60.9%	34.0%

ティッカー	名称	時価総額	1カ月	年初来	1年	PER実績	PER今期	売上成長率	粗利率	営業利益率
META	Meta Platforms, Inc.	\$1.88T	+19.9%	+12.2%	+3.6%	27.8x	23.7x	+28.0%	81.7%	34.8%
WMT	Walmart Inc.	\$853.1B	+0.1%	-3.2%	+5.3%	38.8x	37.2x	+5.9%	24.8%	3.5%
COST	Costco Wholesale Corporation	\$414.8B	+2.2%	+9.0%	+3.3%	45.1x	41.1x	+11.1%	12.8%	4.0%
同業中央値		\$1.88T	+2.7%	+10.1%	+3.6%	29.5x	26.8x	+17.7%	60.9%	34.0%

同業はクラウド・広告企業（MSFT、GOOGL、META）と小売企業（WMT、COST）で、今期PERの中央値は26.8xである。同社の売上高成長率19.6%はMETA（28.0%）、GOOGL（24.2%）を下回り、MSFT（17.7%）および小売同業を上回る。営業利益率13.7%は小売（3.5%–4.0%）とクラウド・広告（34.0%–45.1%）の中間にあり、事業構成の違いを反映している。評価益を除いた今期PER約31.9x（推定）で見ると、同社株は同業中央値を上回るが、WMT（37.2x）およびCOST（41.1x）を下回る。同業間の事業内容の差が大きいため、比較結果は参考にとどまる。

07

スマートマネー

機関投資家・政治家の保有状況：追跡対象のうち 9 人が AMZN を保有

人物	データ	報告期間	評価額 / レンジ	ポートフォリオ比率	四半期の変化
チェイス・コールマン	13F 保有	2026-06-30	\$2.3B	9.6%	一部売却
ビル・アックマン	13F 保有	2026-06-30	\$2.0B	10.5%	一部売却
デビッド・テッパ	13F 保有	2026-06-30	\$1.2B	15.4%	買い増し
セス・クラーマン	13F 保有	2026-06-30	\$892M	16.5%	買い増し
ルネサンス・テクノロジーズ	13F 保有	2026-06-30	\$546M	0.8%	新規
レイ・ダリオ	13F 保有	2026-06-30	\$483M	2.0%	一部売却
キャシー・ウッド	13F 保有	2026-06-30	\$379M	2.5%	買い増し
ジョージ・ソロス	13F 保有	2026-06-30	\$282M	3.5%	一部売却
スタンレー・ドラクケンミラー	13F 保有	2026-06-30	\$129M	2.5%	買い増し

人物	日付	取引	金額レンジ
ナンシー・ペロシ	2026-01-16	買い	\$500,001 – \$1M
ナンシー・ペロシ	2025-12-30	買い	\$100,001 – \$250,000
ナンシー・ペロシ	2025-12-24	一部売却	\$1M – \$5M

各追跡対象の最新の公開済み 13F、インサイダー報告、資産公開に基づく。13F には約45日の遅れがある。スマートマネー →

今後の注目事項

2026-10-14	米国9月CPI、Anthropic上場前の投資家説明会（報道ベース） 8月CPIは前年同月比3.4%、コア2.4%であった。インフレ指標は12月利上げ観測に影響する。投資家説明会で開示される売上高や評価額の情報は、同社が保有するAnthropic資産の評価に関わる。
2026 年 10 月下旬	2026年第3四半期決算（日程未発表） AWS成長率が35%以上を維持するか（TD Cowenは約41%と予想）、営業利益が\$22.5B-\$26.5Bのガイダンス・レンジの上半分に入るか、設備投資とフリーキャッシュフロー、およびその他の収益に含まれるAnthropic評価額変動の規模。
2026-10-28	FOMC 今回の利上げの市場織り込み確率は約17%である。12月に関する示唆に注目する。
2026-11-27	ブラックフライデー（11月27日）とサイバーマンデー（11月30日） 消費者信頼感が2014年以来の低水準にある中での、年末商戦の小売需要と広告収入。
2026-11-30	AWS re:Invent（11月30日-12月4日） Trainiumチップ、AIサービスの価格設定、大口顧客契約に関する新たな情報。
2026 年 11 月	Anthropic上場の可能性（報道ベース、ロードショーは早ければ11月9日の週） 上場価格と同社の帳簿上の評価額（優先株\$92.5B、転換社債\$97.9B）との差、および転換社債の転換と再測定に伴う損益。
2027-03-29	FTC反トラスト訴訟の公判開始（当事者の提案日） 公判日程が最終確定するか、および8月の広告訴訟の進展。

本レポートはリサーチ目的の参考資料であり、投資助言ではない。

出典

株価・アナリストデータ: yfinance + SEC EDGAR、2026-10-06 終値時点（遅延あり）。財務データ: SEC EDGAR（XBRL と原資料）。マクロ・ニュースは各項目のリンク先を参照。配色は赤が上昇、緑が下落。

イベントおよび日程の出所: CNBC、Bloomberg、FTC、FRB、BLS、Akamai、AWS、Investing.comなど。リンクは各項目に記載した。CNBCおよびBloombergの一部の内容は検索結果の要約に基づいており、全文は閲覧できなかった。約\$220Bの設備投資ガイダンスはCNBCによる決算説明会の報道に基づくもので、SEC提出書類では確認していない。

AlphaScope · alphascope.cc/ja/reports/2026-10-06-amzn · 2026-10-07 作成

財務データは SEC EDGAR の原資料に基づく。株価データには遅延があり、出典は各レポートに記載している。

レーティングはすべての読者を対象とするリサーチ上の見解であり、特定の個人に対する売買の推奨ではない。投資にはリスクが伴う。投資判断は読者自身の責任において行われたい。